

事務連絡  
令和6年2月8日

各正会員  
事務局責任者様

公益社団法人全国産業資源循環連合会  
専務理事 室石 泰弘

## 産業廃棄物処理業の景況動向調査報告書【2023年10-12月期】の送付について

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本調査の実施にあたり全産連発第163号(令和6年1月9日付け)にて貴協会会員企業にご協力をお願いしたところですが、今般、景況動向調査報告書【2023年10-12月期】がまとまりましたので、送付いたします。

報告書の概要版につきましては、連合会ホームページに掲載しておりますので、以下のURLをご参照ください。

【報告書概要版の掲載ページ URL】

<https://www.zensanpairen.or.jp/activities/report/>

次期(2024年1-3月期)につきましては、令和6年4月中旬頃に調査依頼を予定しておりますので、ご承知おきください。

## 産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2023年10-12月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

### 〔調査結果の概要〕

今期の調査は286社から回答があった。景況判断DIは▲11となり、前期調査から5ポイント改善した。来期の見通しは▲18となり、7ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点については、「従業員の不足」、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も高かった。

以下、その他業況感DIの内訳

前期(2023年7-9月)に対して、

- ・売上高DIは12で、16ポイント改善
- ・処理量DIは8で、16ポイント改善
- ・営業利益DIは▲5で、7ポイント改善
- ・資金繰りDIは▲2で、2ポイント悪化
- ・借入難易度DIは5で、3ポイント悪化
- ・設備投資DIは0で、8ポイント悪化
- ・従業員数DIは▲3で、2ポイント悪化
- ・契約単価DIは、収集運搬が8で、1ポイント改善  
処分が7で、1ポイント改善

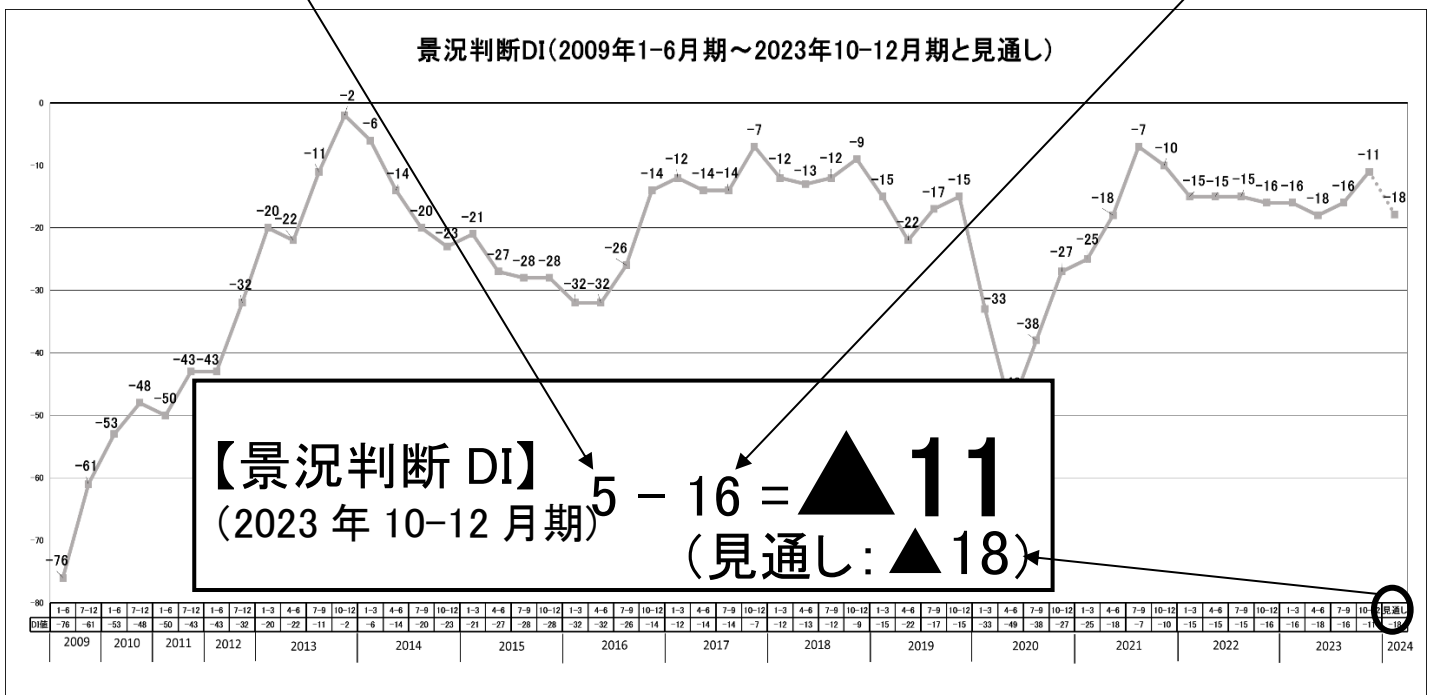
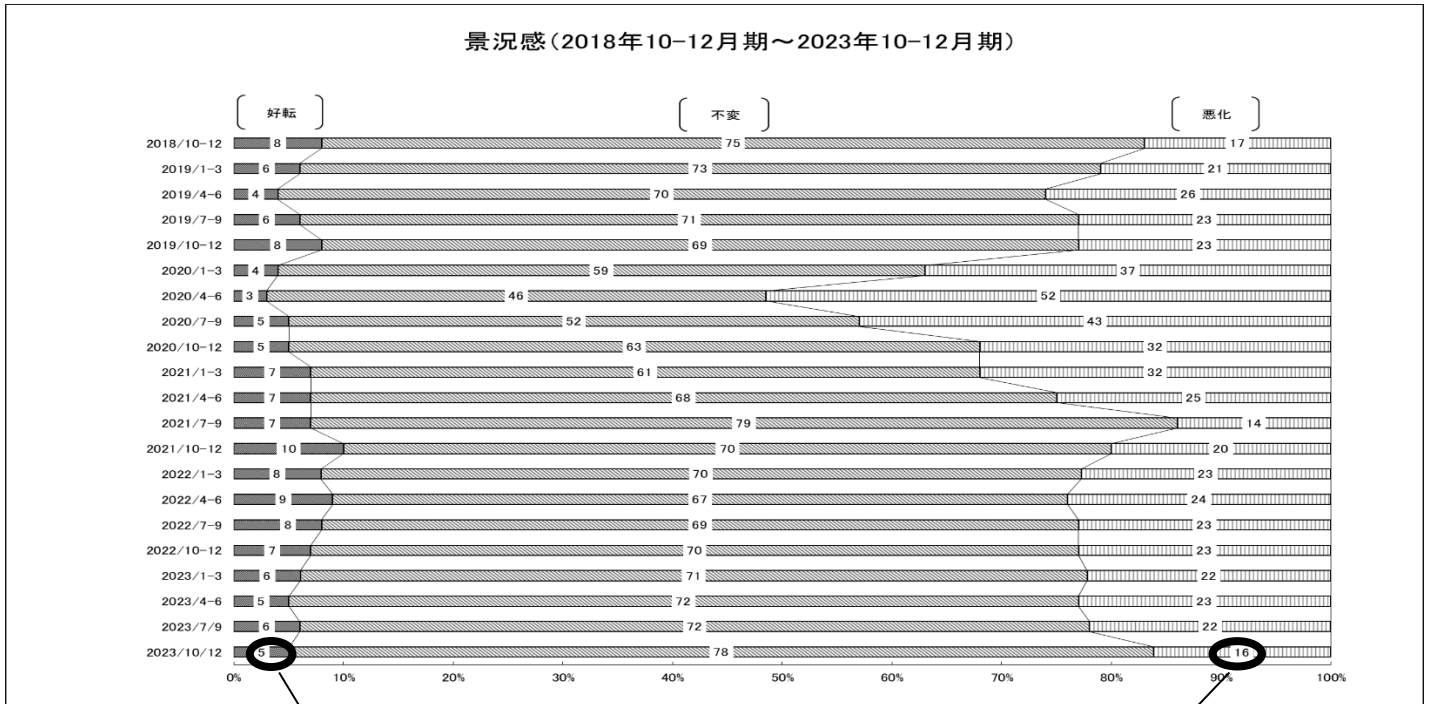
- 売上高の動向については、前年同期比で2.5%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で5.8%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で0.8%増となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

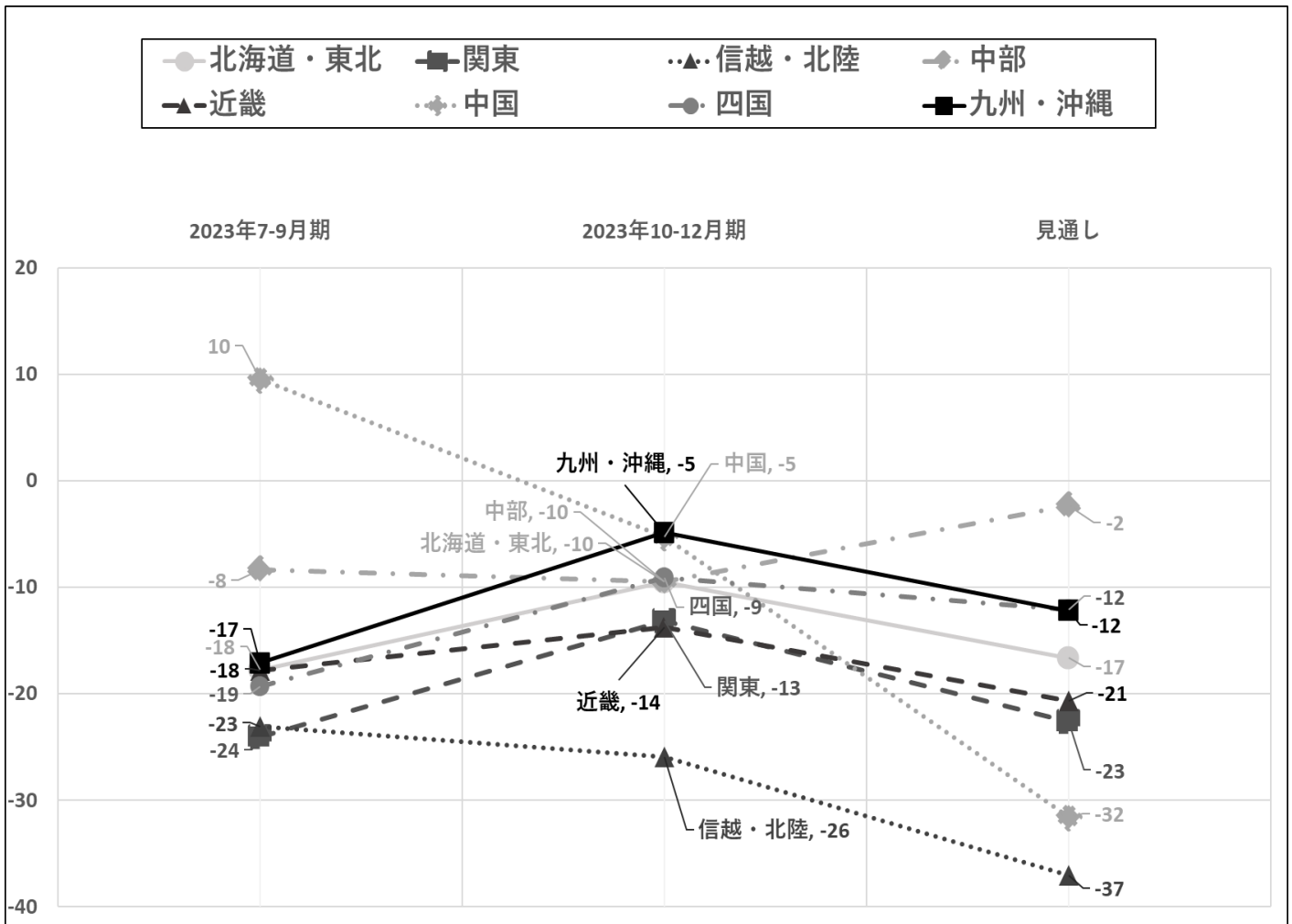
# 1. 景況感 DI(「好転」・「増加」-「悪化」・「減少」の企業割合)

## (1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲11 となり、前期から 5 ポイント改善した。  
見通しは▲18 となり、7 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「北海道・東北」、「関東」、「近畿」、「四国」、「九州・沖縄」が改善した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「中部」のみが改善する見込みとなっている。(3 ページ参照)



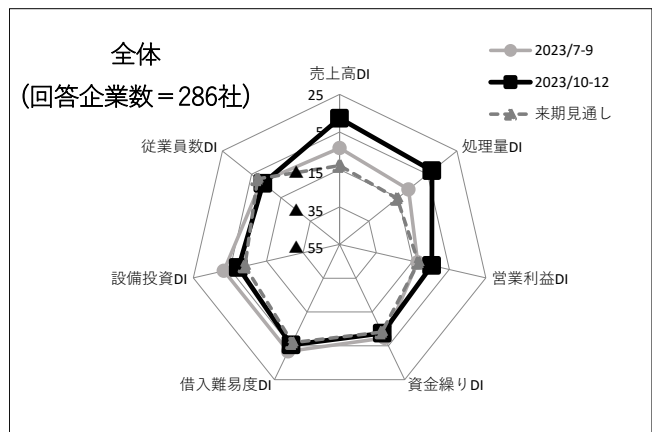
# 地域別景況判断 DI



	全体平均	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2023年7-9月期	-15	-18	-24	-23	-8	-18	10	-19	-17
2023年10-12月期	-11	-10	-13	-26	-10	-14	-5	-9	-5
見通し	-19	-17	-23	-37	-2	-21	-32	-12	-12

## (2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

- 前期から資金繰り DI、借入難易度 DI、設備投資 DI、従業員数 DI が悪化した。
- 見通しは、従業員数 DI のみ改善する見込みとなっている。

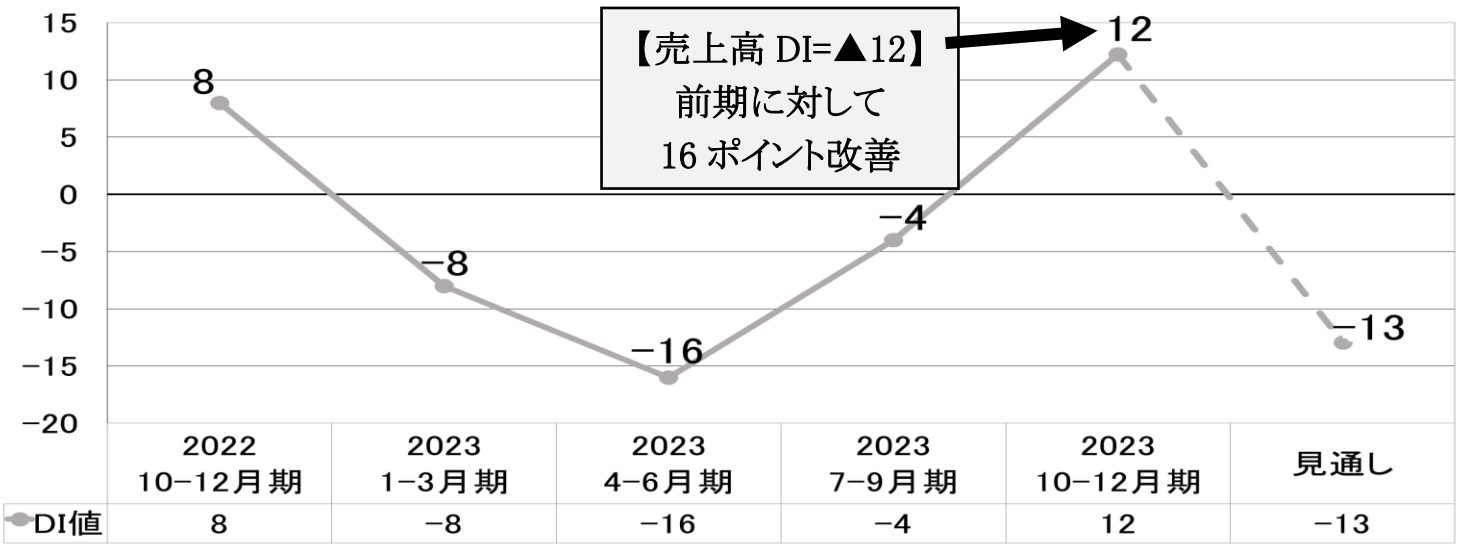


以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は 12 となり、前期と比べて 16 ポイント改善した。  
見通しは▲13 となり、25 ポイント悪化する見込み。
- ・処理量 DI は 8 となり、前期と比べて 16 ポイント改善した。  
見通しは▲16 となり、24 ポイント悪化する見込み。
- ・営業利益 DI は▲5 となり、前期と比べて 7 ポイント改善した。  
見通しは▲12 となり、7 ポイント悪化する見込み。
- ・資金繰り DI は▲2 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。  
見通しは▲3 となり、1 ポイント悪化する見込み。
- ・借入難易度 DI は 5 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。  
見通しは 3 となり、2 ポイント悪化する見込み。
- ・設備投資 DI は 0 となり、前期と比べて 8 ポイント悪化した。  
見通しは▲3 となり、3 ポイント悪化する見込み。
- ・従業員数 DI は▲3 となり、前期と比べて 2 ポイント悪化した。  
見通しは 1 となり、4 ポイント改善する見込み。

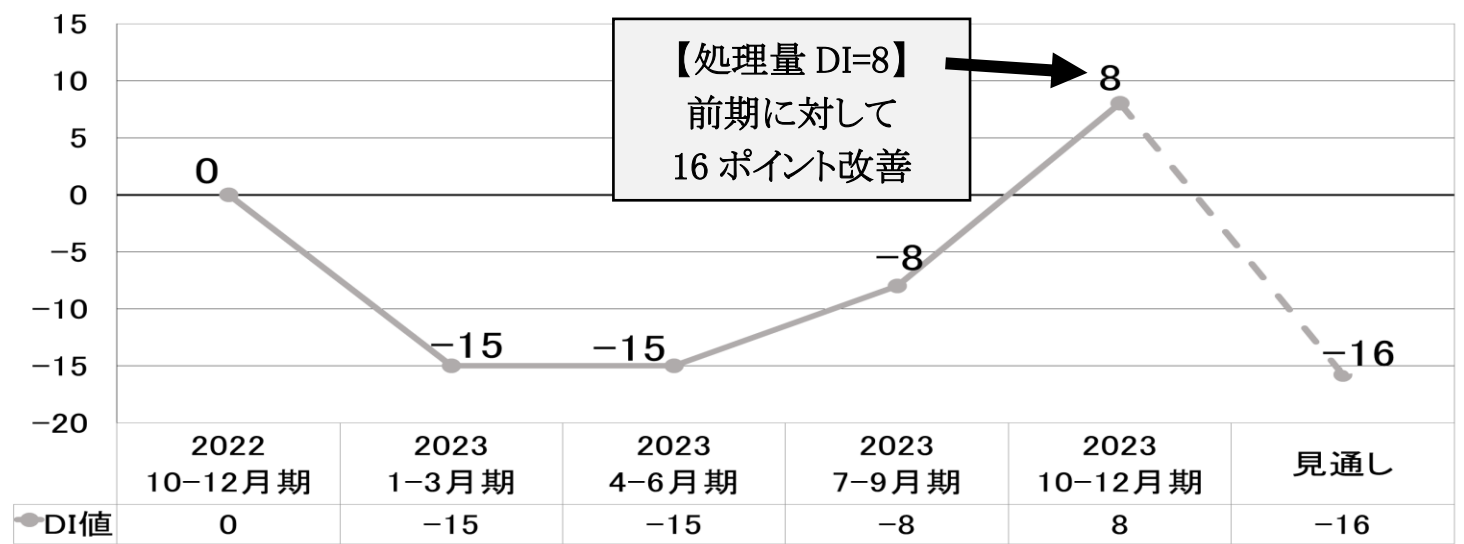
### 売上高DI

(2022年10-12月期～2023年10-12月期と見通し)



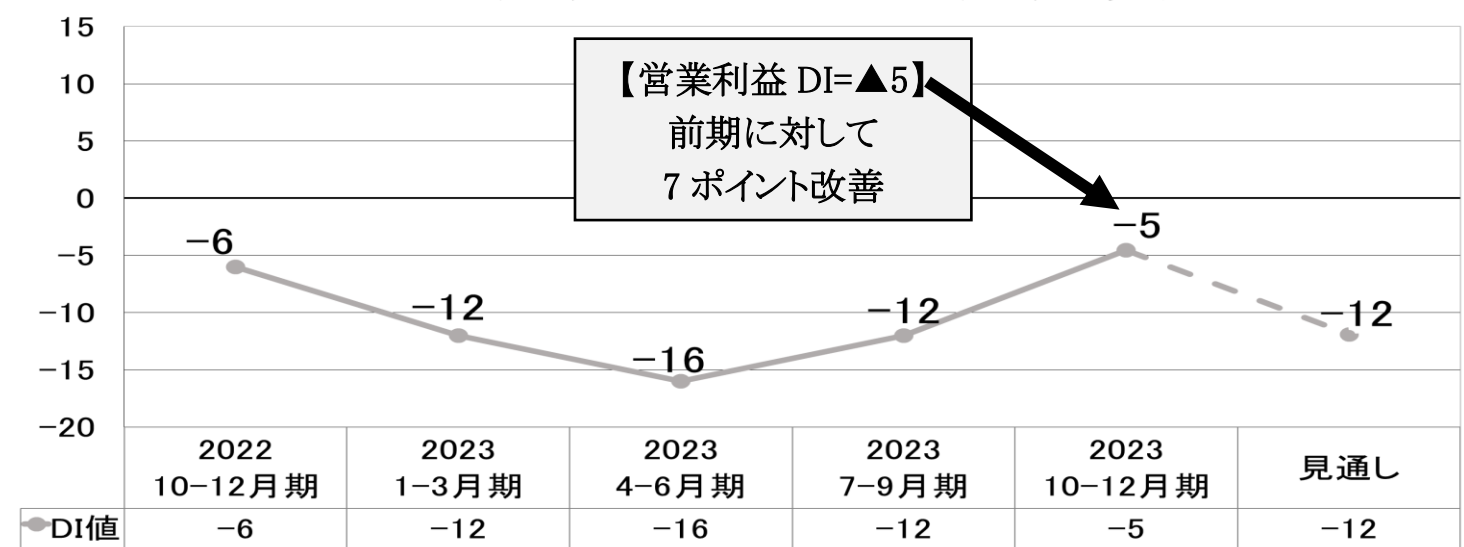
### 処理量DI

(2022年10-12月期～2023年10-12月期と見通し)

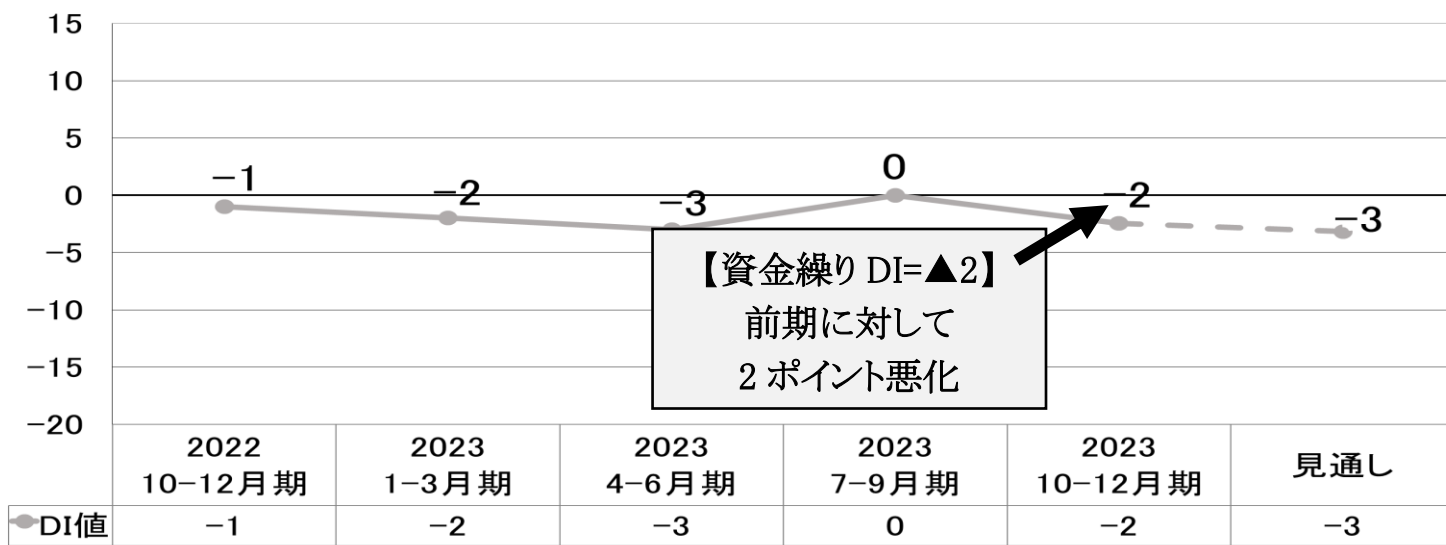


### 営業利益DI

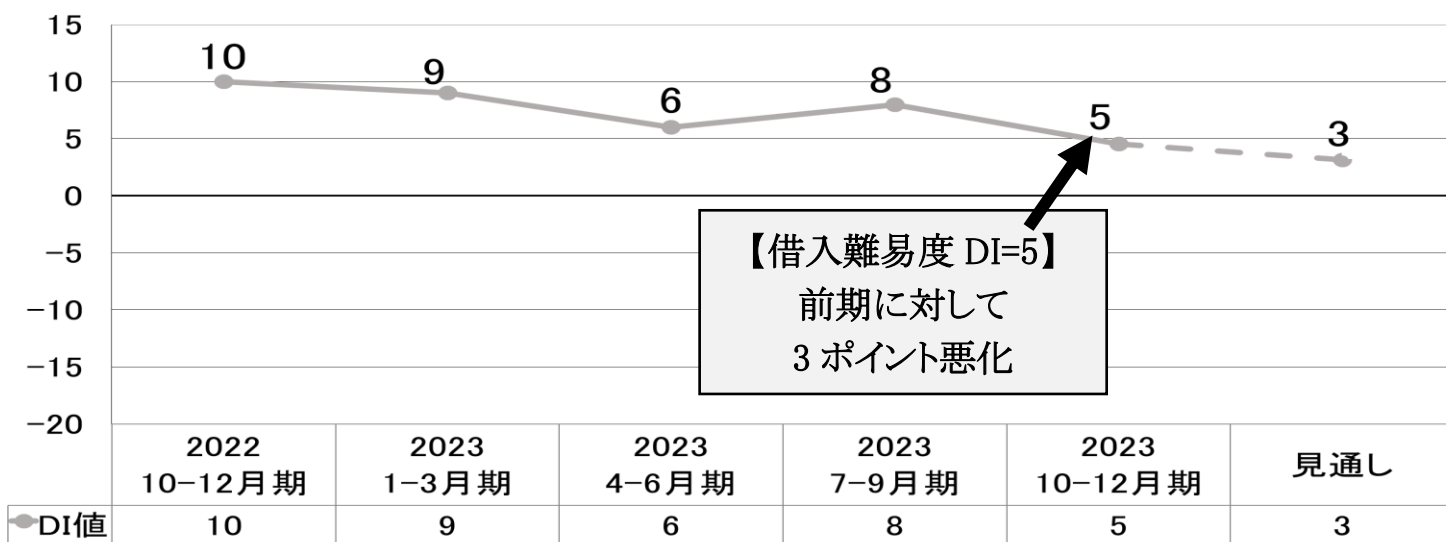
(2022年10-12月期～2023年10-12月期と見通し)



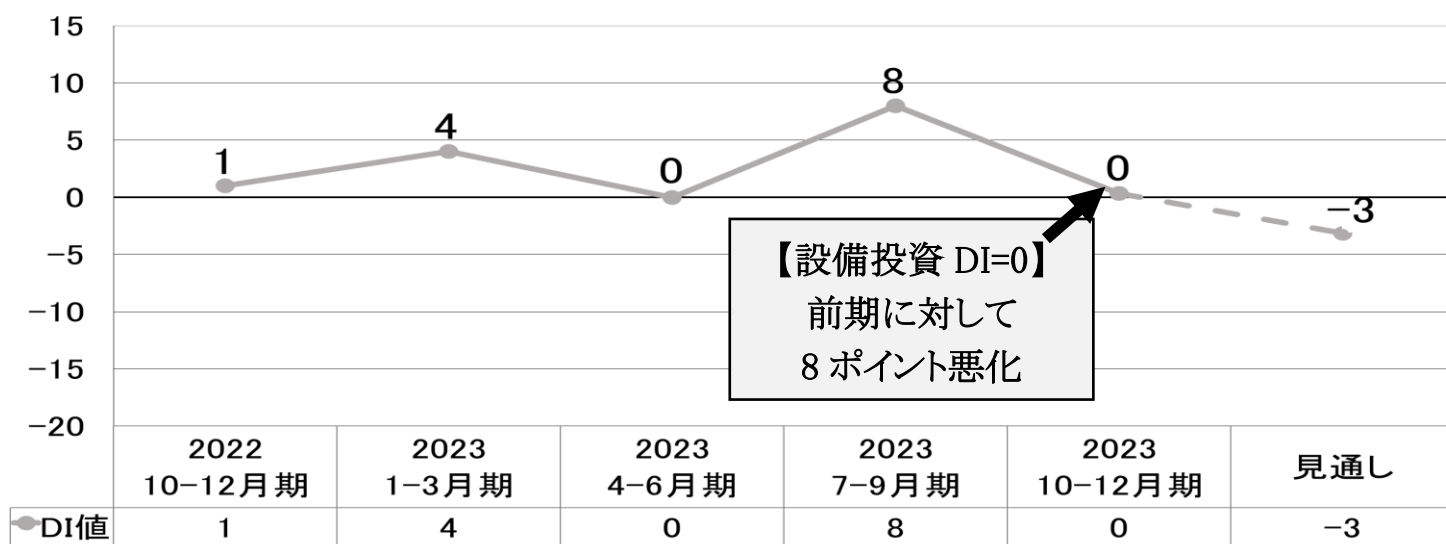
### 資金繰りDI (2022年10-12月期～2023年10-12月期と見通し)



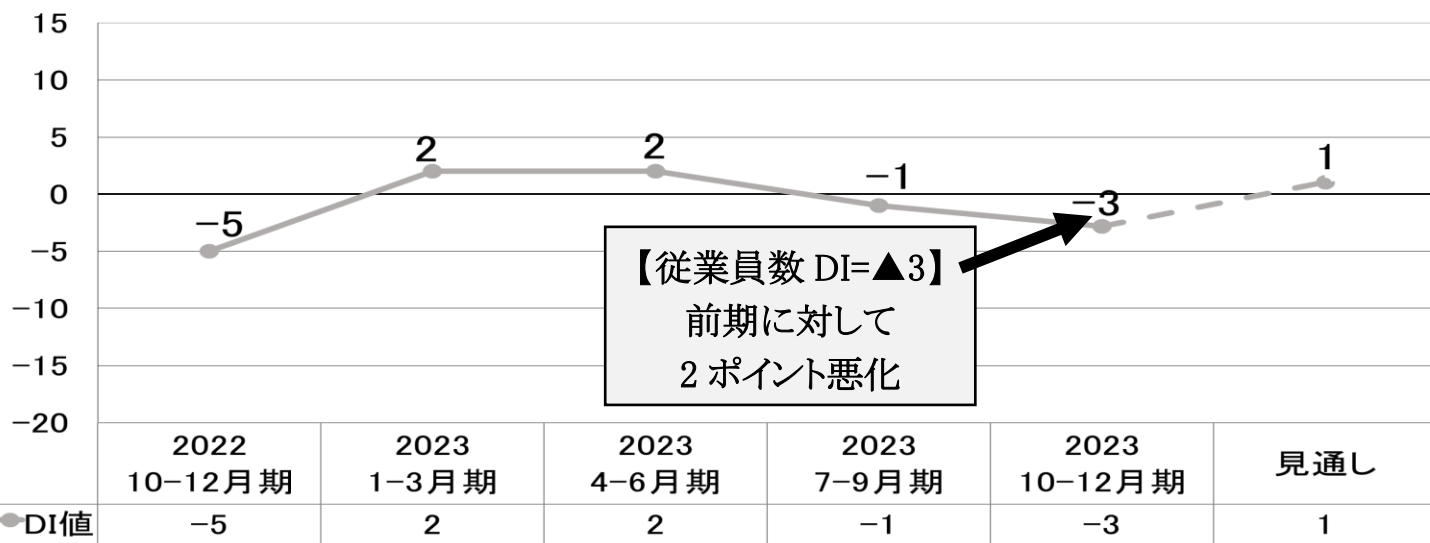
### 借入難易度DI (2022年10-12月期～2023年10-12月期と見通し)



### 設備投資DI (2022年10-12月期～2023年10-12月期と見通し)

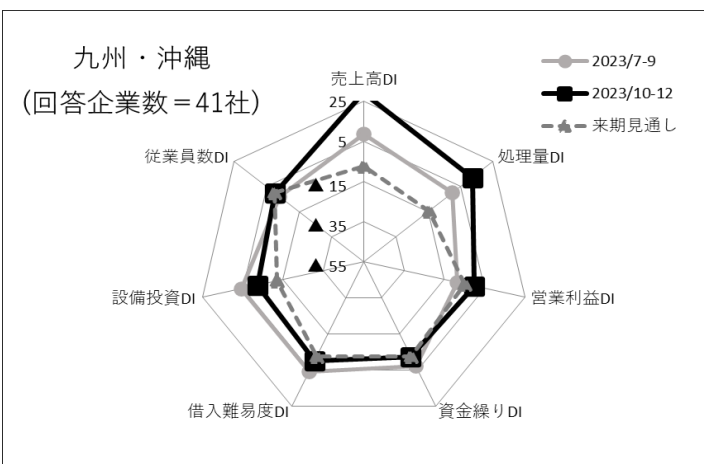
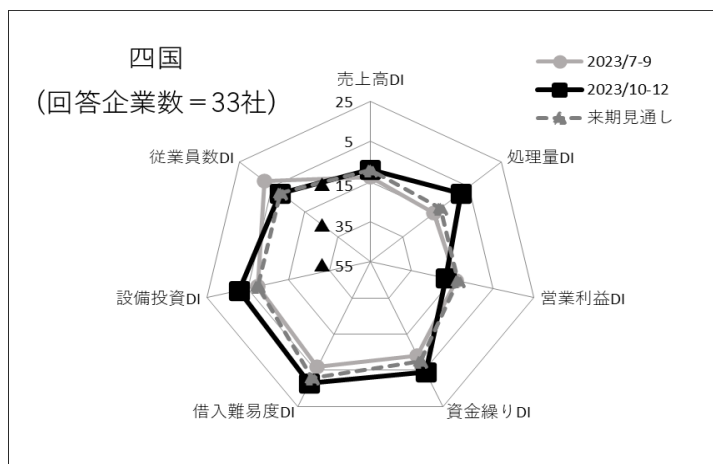
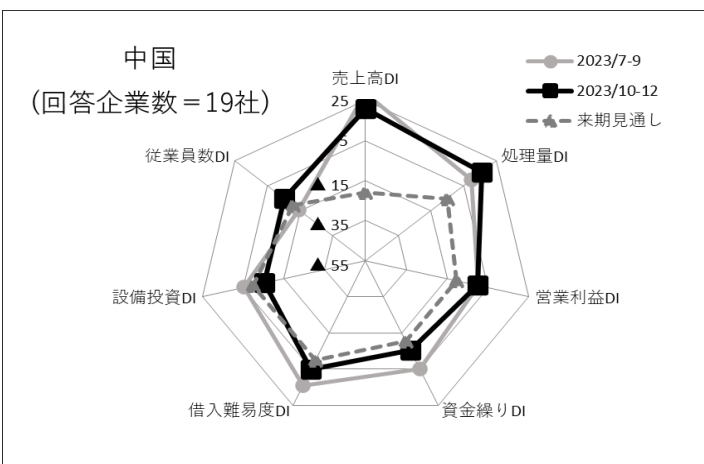
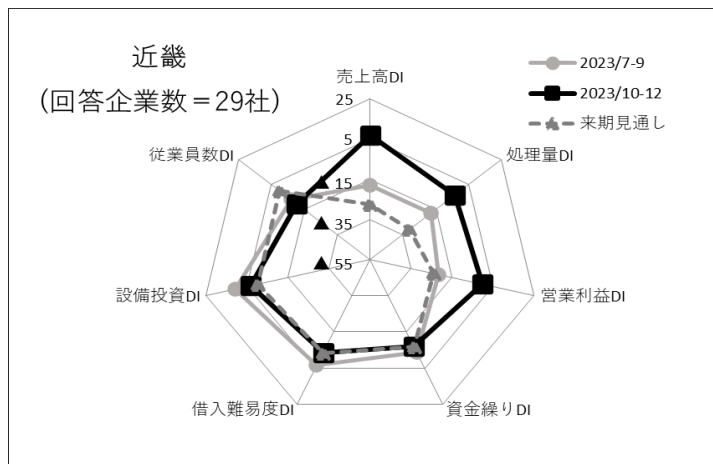
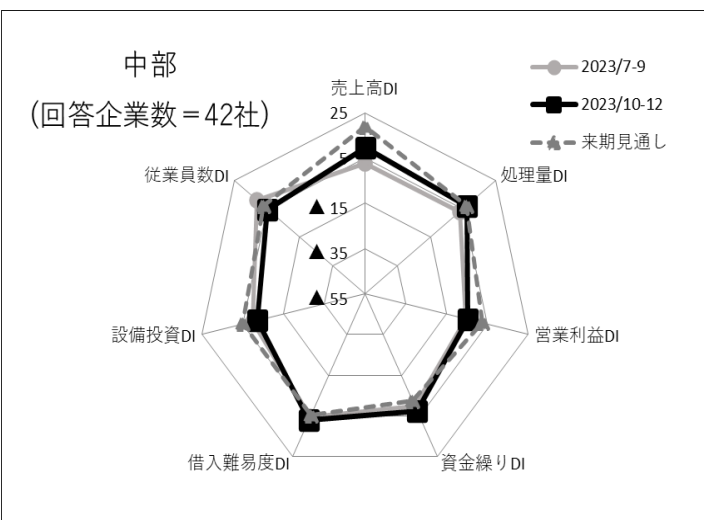
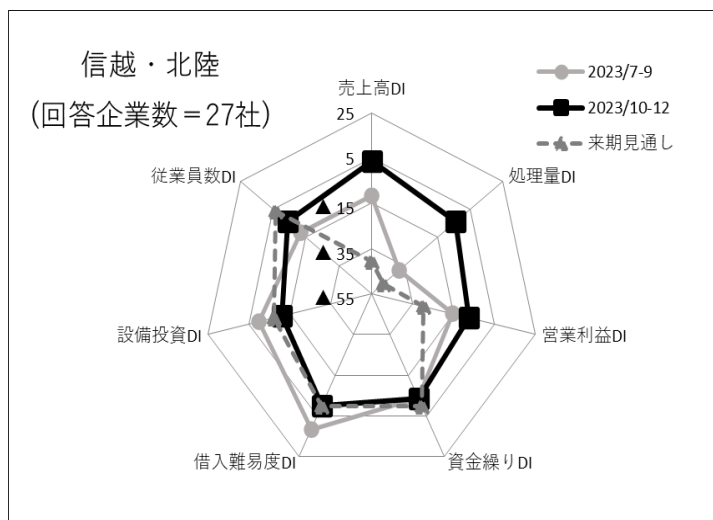
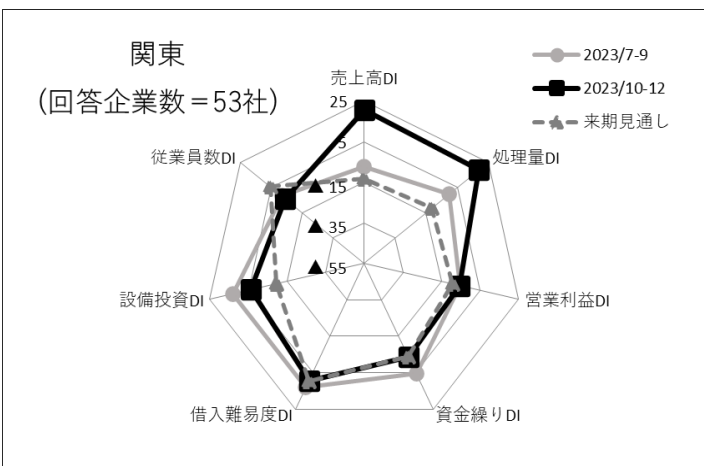
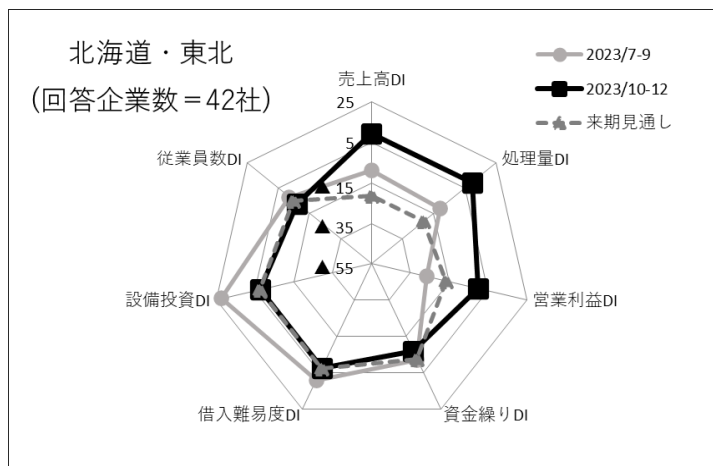


## 従業員数DI (2022年10-12月期～2023年10-12月期と見通し)



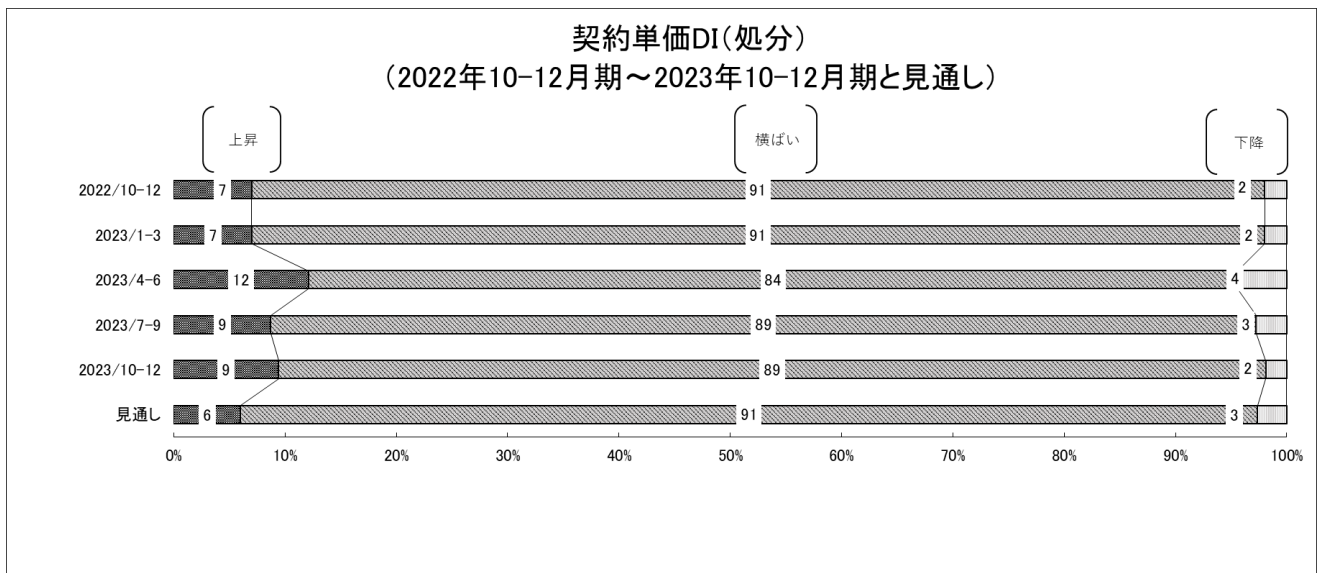
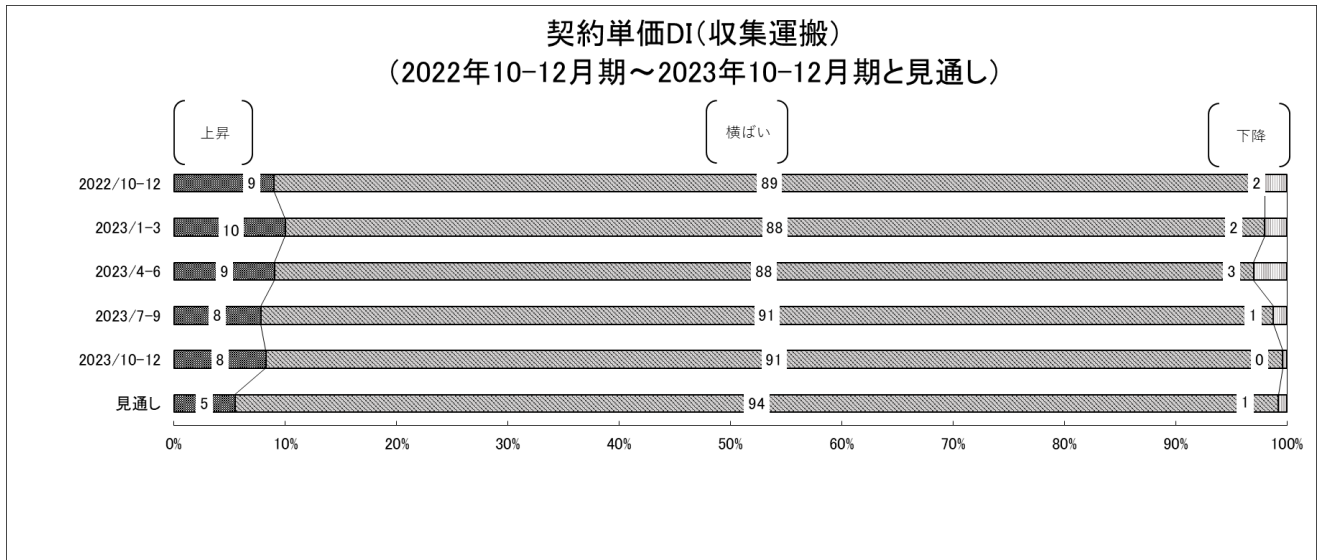


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



### (3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 8 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。  
見通しは 4 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 7 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。  
見通しは 3 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。



## 2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、2.5%増となった。

有効回答数:156社

単位:千円

前年売上高	2022年10月	2022年11月	2022年12月	平均
	10,526,985	10,412,909	11,267,516	10,735,803
今年売上高	2023年10月	2023年11月	2023年12月	平均
	10,981,858	10,751,697	11,290,093	11,007,883
前年比	4.3%	3.3%	0.2%	2.5%

## 3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、5.8%減となった。

有効回答数:155社

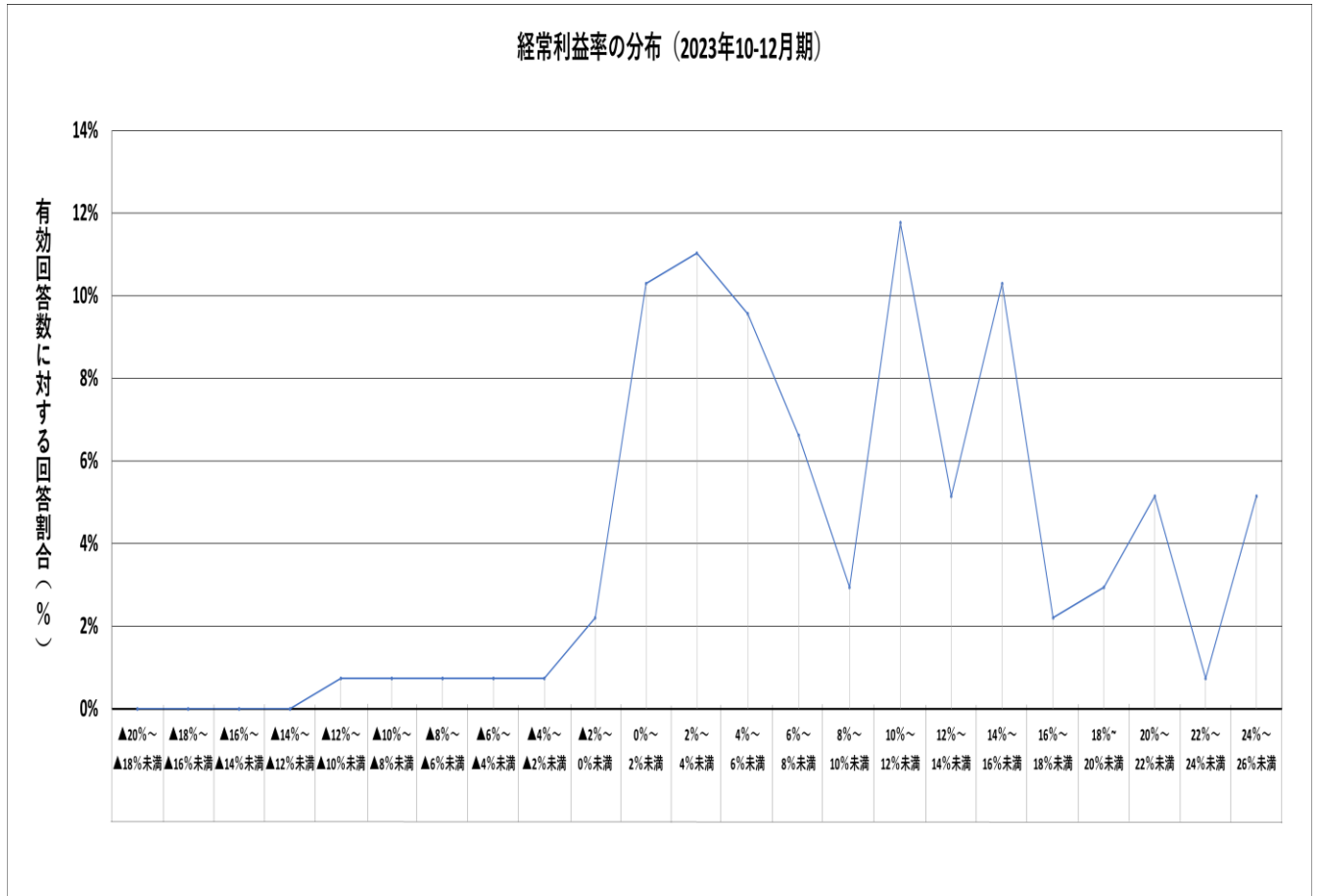
単位:トン

前年処理量	2022年10月	2022年12月	2022年12月	平均
	612,898	660,393	644,303	639,198
今年処理量	2023年10月	2023年11月	2023年12月	平均
	582,352	600,617	623,551	602,173
前年比	▲ 5.0%	▲ 9.1%	▲ 3.2%	▲ 5.8%

#### 4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

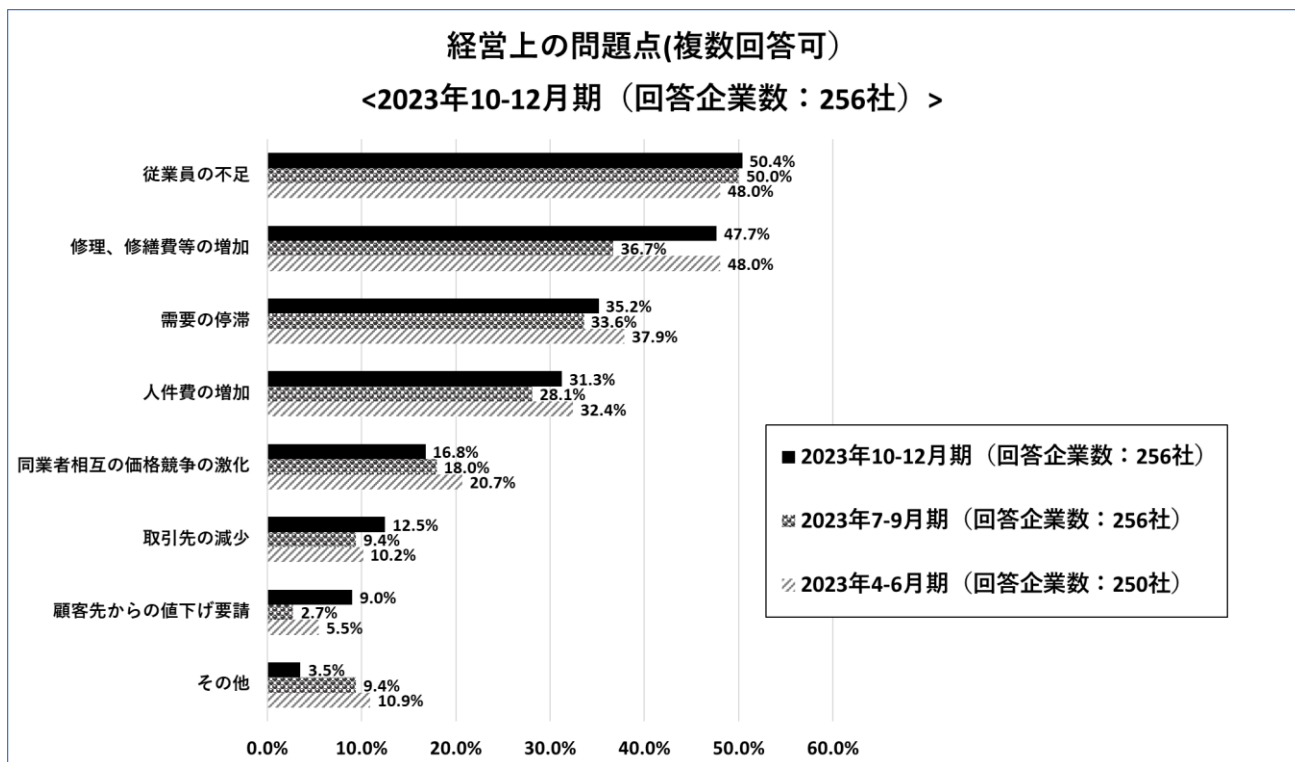
- 経常利益率の平均値は 8.3%で前年同期(0.8%)より改善した。

有効回答数: 136 社



## 5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、「従業員の不足」の回答割合が最も高かった。
- 「修理、修繕費等」の回答割合が前期から11%増加した。



### 【その他記述回答の代表的な意見】

- ・ 燃料費の高騰
- ・ 物価の高騰
- ・ 最終処分場の受入制限及び処分費の値上げ
- ・ 働き方改革

## 〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

### (1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

### (2) 調査期間

2024年1月9日～1月31日

### (3) 調査方法

Webによるアンケート

### (4) 回答数・回答率

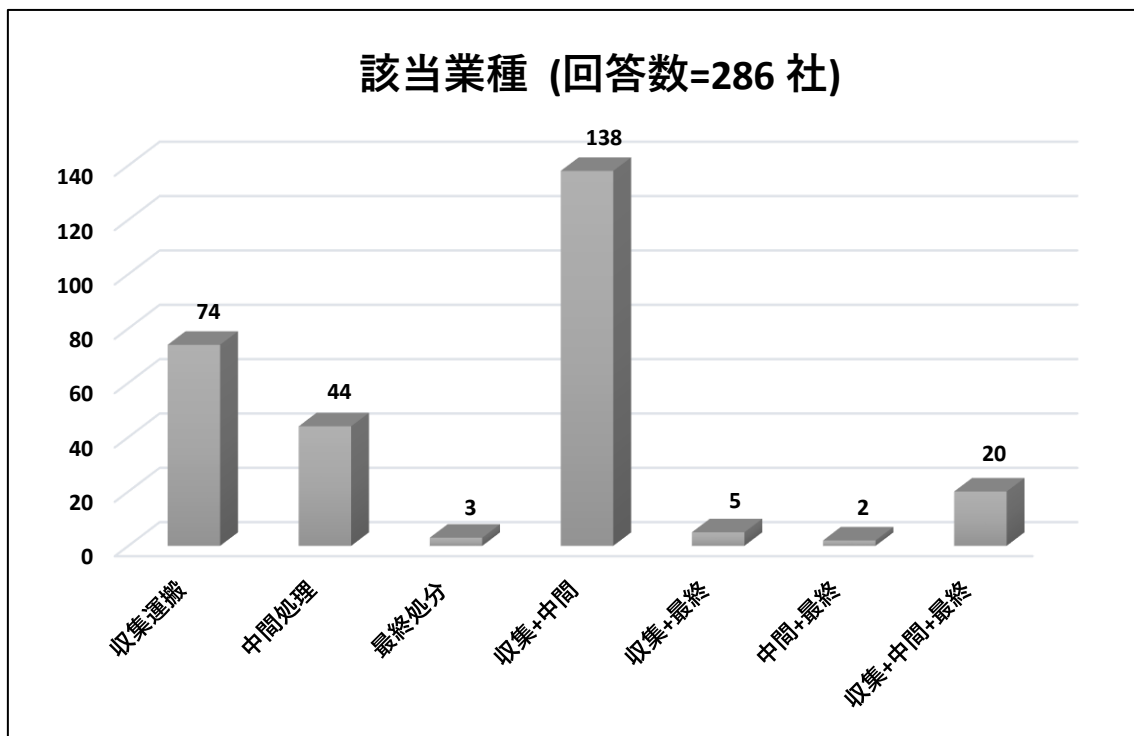
調査依頼企業数	1,251社
回答企業数	286社
回答率	23%

### (5) サンプル構成

#### ① 地域別構成

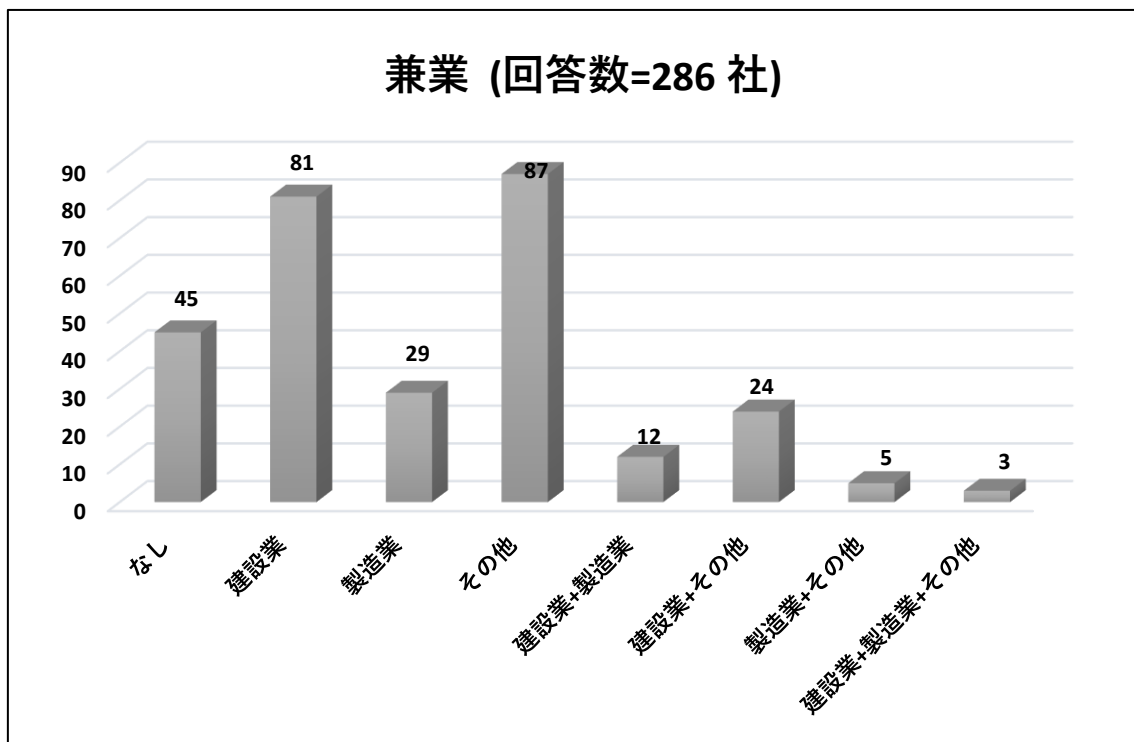
地域	企業数	構成比
北海道・東北	42	14.7%
関東	53	18.5%
信越・北陸	27	9.4%
中部	42	14.7%
近畿	29	10.1%
中国	19	6.6%
四国	33	11.5%
九州・沖縄	41	14.3%
合計	286	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	74	25.9%
中間処理	44	15.4%
最終処分	3	1.0%
収集+中間	138	48.3%
収集+最終	5	1.7%
中間+最終	2	0.7%
収集+中間+最終	20	7.0%
合計	286	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	45	15.7%
建設業	81	28.3%
製造業	29	10.1%
その他	87	30.4%
建設業+製造業	12	4.2%
建設業+その他	24	8.4%
製造業+その他	5	1.7%
建設業+製造業+その他	3	1.0%
合計	286	100.0%